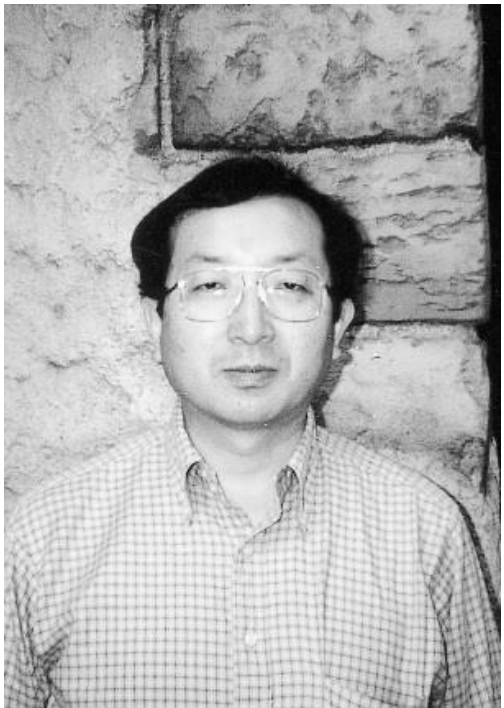

日原　傳氏プロフィール

昭和 34 年山梨県生まれ。昭和 54 年、東大学生俳句会に入会し、小佐田哲男、有馬朗人、山口青邨の指導を仰ぐ。平成 2 年に有馬朗人主宰の「天為」の創刊に参加。平成 11 年に法政大学人間環境学部助教授、平成 15 年に同大学同学部教授に就任する。句集に「重」「江湖」「此君」がある。「天為」同人。

『此　君』（自選15句）

日原　傳

まんさくは頬刺す風の中の花
難しく幹にとまりて囀れり
尾を振つてはじまる蝌蚪の孤独かな
花の名を魚に与へてあたたかし
亀の子の育ちすぎたる祭かな
いきほひの出て真直ぐに蛇泳ぐ
ある人は膝を抱へて涼みけり
昼寝の子一暴れしてまた眠る
てのひらの集まつてくる踊かな
長城の切れ端を目に秋耕す
出入口なき虫籠を編む男
虫の屍を裏みて露のひかりけり
伝言を巫女は菊師にささやきぬ
空飛んで来たる顔せず浮寝鳥
外套は神話の如く吊られけり